

# 修士学位請求論文執筆要項（横書き用）

2022. 12改訂  
教養デザイン研究科

## 1 全体の構成について

(a)～(e)をPC(Word等)で作成し、1つのファイルにして、PDFにファイル形式を変換し提出すること。

### (a) 論文の表紙「扉」

- ・ホームページ（「修士学位」のページ）から様式をダウンロードし、必ず見本を参照して必要事項を入力すること。（なお、指導教員名に敬称はつけないこと）
- ・論文題名には、必要ならば副題をつけ、副題はダッシュ（―）で最初と最後をくくること。

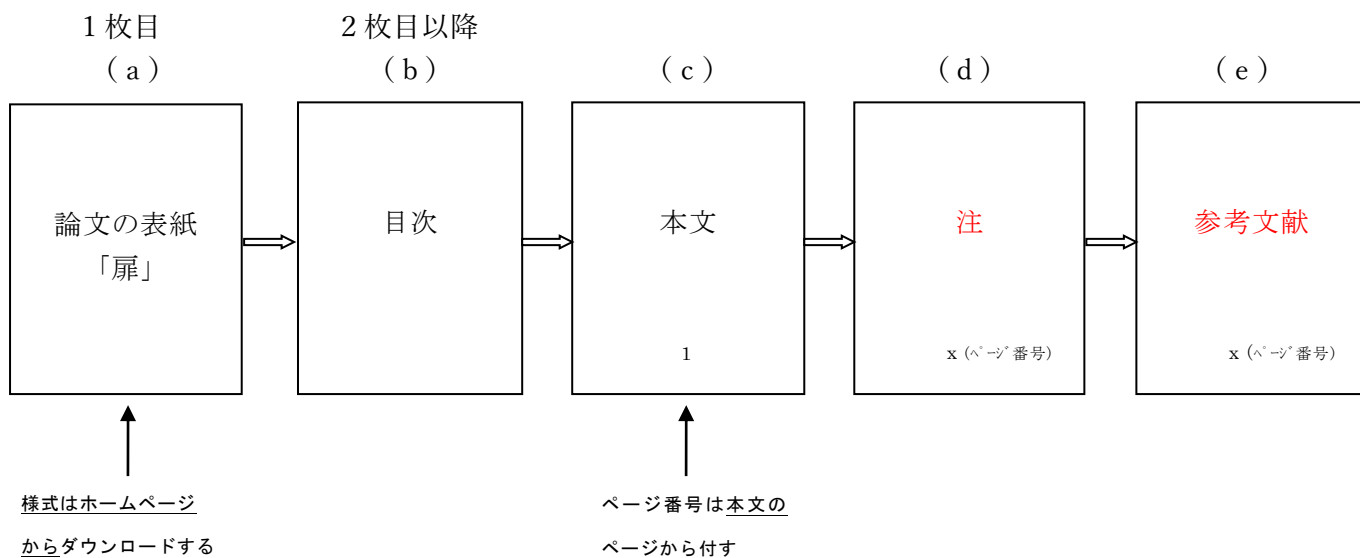
### (b) 目次（章、節、項）

### (c) 本文

- ・Word等の設定で、A4判40字×35行、文字サイズは10.5ポイント程度とする。

### (d) 注

### (e) 参考文献



## 2 目次について

作成にあたっては、以下に注意すること。

- (1) ページ番号は、本文から付すこと（論文表紙「扉」、目次には付さない）。
- (2) 目次は、章、節、項までとし、項の下「目」までは目次に反映させる必要はない。
- (3) 注、参考文献についても、目次に反映すること。

(例)

| 目 次                      |        |
|--------------------------|--------|
| はじめに                     |        |
| I アジアの中間層論の台頭の背景         | ・・・ 1  |
| 1. アジア中間層の種類             | ・・・ 8  |
| (1) 国家論アプローチ             | ・・・ 12 |
| (2) マルクス主義アプローチ          | ・・・ 15 |
| (3) 第3のアプローチ             |        |
| 2.                       |        |
| II 1980年代のアジア中間層論と社会構造変化 |        |
| 1.                       |        |
| 2.                       |        |
| おわりに                     |        |
| 注                        |        |
| 参考文献                     |        |

## 3 本文の構成について

(1) 章、節などの構成の項目分けに用いる番号〈大項目～小項目〉

I II ... → 1. 2. ... → (1) (2) ... → ① ② ...

(例)

I 章のタイトル〔章は大項目に相当します。〕

  1. 節のタイトル〔節は中項目に相当します。〕

    (1) 項のタイトル〔項は小項目または小節に相当します。〕

      ① 目のタイトル〔目は下位の項目または下位の節に相当します。〕

(2) 箇条書きの例

  (a)・・・

  (b)・・・

    (i)・・・

    (ii)・・・

## 4 本文について

(1) 横書きの句読点は〔,。〕〔、。〕〔,。〕の3種類の方法があるが、ひとつの論文で統一したものを使用すること。

(2) 外国の国名、地名、人名などは、漢字による表記が慣例となっている場合（例：中華人民共和国や大韓民国など）を除き、原則としてカタカナ書きにすること。

なお、一般化していない固有名称（地名、人名、機関名、会社名など）は、最初に限りその原語（ただし、ローマ字を通常使用しない言語の場合には、そのローマ字化したもの）をカッコ内に付記すること。

ローマナイゼーションの方式は必ずしも統一しない。

（例）

タンダン（Purushototamdas Tandan）は……。タンダンの主張によれば……。アジア太平洋経済社会委員会（Economic and Social Commission for Asia and the Pacific、略称 ESCAP）が……。ESCAP は……。カオプラ村(Tambon Khaophra)には……。カオプラ村の人口は……。

（3）外来語及び、外国（中国を除く）の度量衡や貨幣の単位は、カタカナ書きにすること。

（例）コーヒー、ガラス、メートル、トン、ドル、パーセント、ヘクタール  
ただし、図表では、一般的な単位は記号（m、g、t など）を用いる。中国、韓国などの歴史的な度量衡・貨幣の単位については、漢字書きも可。

（4）数字は原則としてアラビア数字を使う。ただし、本文中ではカンマを用いず、万以上の数字には万、億、兆などを用いること。

概数の場合は、十数人、数十年などとする。

（例）23 億 500 万円、1 万 2000 人、第 2 次 5 カ年計画、表 1、0～5 歳

（5）年は西暦を使用する。特別の暦法による暦（例：イスラーム暦、旧暦、元号）を使用する場合には西暦年を [ ] で付記すること。初出では、1900 年、2010 年とし、以降は 19 または 20 は略す。

（6）年度の表示には斜線を用いる。継続年次の場合は（～）を用いること。

（例）1970/71 会計年度 1970～75 年

## 5 図・グラフ・写真・表について

図・グラフ・写真・表には、それぞれ通し番号とキャプションをつけること。

図・グラフ・写真のタイトルは下に、表のタイトルは上に書くこと。

出典は、図・グラフ・写真の場合にはタイトルの下に、表の場合は表の下（欄外）に記入すること。出典の書き方に関しては、参考文献の書き方に準じる。また、注記が必要な場合には、（出典）の上に番号を付して記載する。

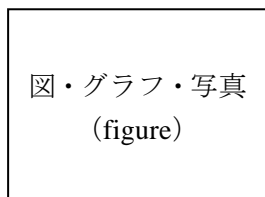


図 1. ○○○○ (●●蔵, 撮影)

(注) 1……  
2……  
3……

(出典)

表 1. ××××

表  
(table)

(注) ……

(出典)

## 6 注について

(1) 注は本文の該当箇所に通し番号 (1) (2)・・・を用いて示し、論文の最後に「注」の項目を作ってまとめて記載すること。

注の番号は、該当箇所の右肩に上付きに印字すること。

(例) 明治大学和泉キャンパス<sup>(1)</sup>は、・・・・・・である<sup>(2)</sup>

(2) 出典を示す注記(出典注・引用先の明記)の場合は、著者名(訳者名)『書名』(刊行年、引用・参照ページ)とする。下記を参照のこと。

(例) (1) ～～の論点については、シルレル(中村三郎訳)『詩の面白さ』(2010、pp.31-40)による。

## 7 参考文献について

参考文献は、注の後に参考文献の項目を作ってまとめて記載すること。

また、作成にあたっては、和文とそれ以外の文献に分けること。

### (1) 和文参考文献の表記法

〈雑誌論文〉

著者名「論文タイトル」、『掲載雑誌名』巻号数、西暦年月、始頁・終頁

(例) 柳田国男「女の力」、『国文学雑誌』第30巻10号、1900年9月、59-70頁

〈単行本〉

著者または編者名『書名』、発行所名、西暦年

(例) 明治太郎『巫女と神道』、東京出版、2005年

〈訳本〉

著者名(訳者名)『書名』、発行所名、西暦年

(例) シルレル(中村三郎訳)『詩の面白さ』、朝日書院、2010年

〈未公刊物(内部資料、学位論文等)〉

著者、印刷年、執筆者、「論文名・資料名」、印刷元(提出先)の順とすること。

〈文書〉

執筆者、作成年、文書名、所蔵機関の順とすること。

(例) 久保田関東州在勤武官 1925. 「上海ニ於ケル罷業ニ関スル件」大正 14 年 2 月 23 日(外務省記録「中国ニ於ケル労働争議関係雑件・上海ノ部」(I.4.4.0.3-2).

〈インタビュー、聞き取り調査〉

引用回数が少ない場合は注で「いつ、どこで、誰が、誰に」聞いたのか説明書きを入れ、リストに載せる必要はない。ただし頻繁に引用するものについてはリストに載せ、本文、注では聴取者ないし被聴取者名と聴取した年を記述すること。

(例) 田中(1998)(本文)

田中一郎 1998. 「1998年2月1日、〇〇社広報室にて行った筆者(田中)による〇〇社へのインタビュー」.(リスト)

### (2) 欧文参考文献の表記法

著者名は、「姓(カンマ)名」の順で表記し、姓はすべて大文字、名は頭文字のみ大文字、2文字目以下小文字。論文タイトルの前にはコロン(:)を置き、全体を二重引用符(“ ”)でくくる。各単語の頭文字は大文字、2文字目以下小文字。ただし、冠詞、接続詞、前置詞はすべて小文字。

(例) YAMAIZUMI, Susumu: “Kyôyô'(Culture) and the Japanese Society”

また、雑誌、論文集、単行本、会議録のタイトルは、全てイタリック体にしてくだ

さい。

〈雑誌論文や論文集収録論文〉

著者名：論文タイトル，雑誌タイトル，（必要な場合は発行所と発行地），巻号数，西暦年，始頁-終頁

著者名：論文タイトル，編者名：論文集タイトル，発行所名（必要な場合は発行地），西暦年，始頁-終頁

（例）- DAMASIO, Antonio, TRANEL, Daniel, and DAMASIO, Hanna: "Face Agnosia and the Neural Substrates of Memory," *Annual Review of Neuroscience*, 13, 1990, pp.89-109.

- HINTIKKA, Jaakko: "A Discourse on Descartes's Method," in HOOKER, Michael (ed.): *Descartes: Critical and Interpretive Essays*, The Johns Hopkins Univ. Pr., Baltimore and London, 1978, pp.74-88.

〈単行本〉

著者または編者名：タイトル，発行所（必要な場合は発行地），西暦年

（例）- DICKENS, Charles: *Hard Times*, The Modern Library, New York, 2001.

- SORELL, Tom (ed.): *The Rise of Modern Philosophy: The Tension between the New and Traditional Philosophies from Machiavelli to Leibniz*, Oxford Univ. Pr., 1995.

〈国際会議録からの引用〉

著者名：論文タイトル，会議録タイトル，開催地（国），開催期間（年月日），始頁-終頁

（例）- SAKAI, K., KATAYAMA, T., WADA, S., and OIWA, K.: "Perspective Reversal Caused by Chaotic Switching in PDP Schema Model," in *Proceedings of the 1993 IEEE International Conference on Neural Network*, San Francisco, March 28-April 1, 1993, Vol.3, pp.1938-1943.

〈新聞・雑誌などの場合〉

個々の発行年・月・日を参考文献リストに明示する必要はありません。

新聞名、雑誌名などを列挙してください。

(3) インターネットの表記法

当該ページ URL

サイト名、該当ページの管理者名もしくは著作権名、閲覧年月日

（例）<http://www.asahi.com/edu/lifelong/K2001051400355.html>

（『asahi.com』朝日新聞社、2002年2月20日閲覧）

(4) 文書（外交文書、法律条文等）の場合

執筆者（作成機関）、作成年、文書名、所蔵機関を表記する。法律・法案名はイタリック体にするか下線をひくこと。

（例）United States Educational Foundation for Egypt 1951. "Annual Program Proposal, 1952-53." U.S.Department of State, Washington, D.C.Mimeographed.

Cooke, H.B.S. n.d. "South African Pleistocene Mammals in the University of California Collections." Typescript.

U.S.House 1985. *Food Security Act of 1985*. 99th Cong., 1st sess., H.R.2100.

上記の例は、本文中ではそれぞれ、U.S.Educational Foundation for Egypt(1951, 28), Cooke(n.d., 4-7), U.S.House(1985)のように表記する。法律名は本文中で (*Food Security Act of 1985*) と表記してもよい。

(5) 政府刊行物 (年鑑等)

国家統計局総合司編 1985. 『中国城市統計年鑑 1985』北京 中国建築工業出版社.  
U.S., Dept. of State 1954. *Foreign Relations of the United States, 1943*.  
Washington, D.C.: U.S.G.P.O.

本文中では国家統計局(1985)、U. S. Dept. of State(1954)とするか、刊行物名を出して(『中国城市統計年鑑 1985』)、(*Foreign Relations of the United States 1943*)、または(*FRUS 1943*)と表記する。後者の場合、リストでは以下のように表記する。

『中国城市統計年鑑 1985』国家統計局総合司編 北京 中国建築工業出版社.  
*Foreign Relations of the United States, 1943*. U. S., Dept. of State, Washington,  
D.C. : U.S.G.P.O.

※英文での執筆を考えている方は、早めに指導教員の先生へ相談してください。

以 上